

## ( 5 ) 国際農業研究協議グループ ( CGIAR )

Consultative Group on International Agricultural Research

### 1 . 設立の経緯

- ( 1 ) 1960 年代、ロックフェラー財団及びフォード財団は、世界の食料生産の向上に貢献するため、国際稲研究所 ( I R R I ) 等の国際農業研究機関を設立
- ( 2 ) その後、資金難に直面。
- ( 3 ) 1969 年 4 月、我が国を含む先進国政府関係者及び各国際機関の代表者をイタリア・ベラジオ市に集め、本来当該事業は先進諸国の政府によって実施させるべき問題である旨訴える。
- ( 4 ) 1971 年、世界銀行が中心となり、UNDP、FAO 等の関係機関と協議の上、CGIAR が誕生。

### 2 . 目的

CGIAR の目的は研究、キャパシティ・ビルディング、政策支援などを通じて食料安全保障や開発途上国の貧困撲滅に貢献することである。また、CGIAR では持続可能な農業の開発を推進しており、主な研究のポイントとしては、生産性向上、環境保護、生物多様性の保全、政策の改善、各国の研究の強化、が挙げられる。

### 3 . 組織

- ( 1 ) 事務局 世界銀行内 ( 米国ワシントン D.C. )
- ( 2 ) 参加国 46 カ国
- ( 3 ) その他の関係機関 世銀、FAO、UNDP、  
ロックフェラー財団、フォード財団等
- ( 4 ) CGIAR 傘下の研究機関 15 ( 国際稲研究所 ( I R R I )、国際とうもろこし・小麦改良センター ( C I M M Y T ) 等 )

### 4 . 我が国との関係

- ( 1 ) 予算 ( 平成 16 年度 )
  - 外務省任意拠出金： 1,387,080 千円
  - 農水省特別拠出金： 109,528 千円
  - 国際稲研究所 ( I R R I ) への拠出 ( ODA )
  - 国際とうもろこし・小麦改良センター ( C I M M Y T ) への拠出 ( ODA )
  - 国際水管理研究所 ( I W M I ) への拠出 ( 非 ODA )
- ( 2 ) 人的貢献
  - 各研究機関の理事として事業運営、活動計画の策定等に参画
  - ( 独 ) 国際農林水産業研究センター ( J I R C A S ) 等と CGIAR 傘下の研究機関との共同研究の実施 ( 研究者の長期派遣 )